

**愛 愛する** 掌を下に向けてやや彎曲させた左手の手甲の上を右手掌で撫でまわす。子供の頭を愛撫する身振。

**相変わらず** 過去—同じ—同じ—同じ。過去を表わした手まね（右手掌を右肩越しに後方へ押しやる）から、その手の親指と人差指の指頭をつけ合わせては離し、つけ合わせては離しながら、手を前方へまっすぐに移動させて行く。親指と人差指の指頭をつけ合わせるのには「同じ」の意味。すなわち過去から同じ同じとつまり変わらぬこと。

**挨拶** 指頭を上にした両手の人差指を前対立させてから、両手をおじぎするように屈める。

**愛人** 思い忍ぶ 男性（或は女性）

**愛情** (イ)愛—心。愛の手まねをして、右の人差指にて腹(心)を指示する。(ロ)愛—心—優しい。「優しい」は「やわらかい」の手まね。「やわらかい」は空気の少しぬけたフワフワしたゴムマリを片手「親指と他の四指で」持つ模倣身振り。

**間柄** 親指と人差指とで輪をつくったのを両手を（他の三指は伸ばしたまま）、鎖形に（遊び道具の智恵の輪のように）つなぎ合わせる。関連を意味する。すなわち人と人との関係、間柄である。

**曖昧** 五指の指頭を上にしたし掌を内側にした手の中指の指頭で鼻頭を叩くようにする。更に小首を傾げるもよい。

**会う** 逢う 指頭を上にした両手の人差指を左右から近づけて、胸の前辺りで合わせる。二人の音が出会う様。

**相手** 指頭を上にした両手の親指、右手

の方は前にさし出し、左手の方を胸前近くに  
して、互いに対立させる。前にさした親指は  
相手を意味する。

青 やや屈めた中指と人差指の指頭で舌の  
上を掻くようにする。

赤 人差指を横にして、口唇の下を軽くこ  
する。口唇の赤さを表わしたものを。

赤子（赤ちゃん） 五指の指頭を上にな  
し、掌を前に向けた両手を肩の辺りに挙げ、左  
右に振る。

崇める 親指の指頭を上になし、右手を、  
左手の掌の上に載せ、目の上辺りまでさし上  
げる。

明るい 指頭を上にして掌を前に向けた両  
手を顔の前で合わせて、それを左右に勢よく  
離す。「昼」の手まねと同じ。閉ざされた闇  
が開け放れる感じを表わしたものを。

秋（涼しい） 軽く握った拳を前にさし出

した両手の肘を両腹脇にぴったりとつけ、全  
身をこまかく身ぶるいさせる、肌寒さに身ぶ  
るいすること。

商い 商う 親指と人差指で（他の三指は  
伸ばしたまま）輪（金銭）をつくった左右両  
手を胸の前で上下して、同時に互い違いに水  
平に回転させる。

明らか 掌を内側に指頭を上になしして五指  
をびんと伸ばした両手を胸の前で、僅かな間  
隔をもってならべて、そのまま、右手を前へ



押し出し、左手  
を内側に押し返  
す。両手が前と  
内側に明確に分  
け隔てられた意  
味を示している。  
「はっきりに  
ともなる。